

水俣の森と棚田知って

「愛林館」が福岡市で催し

水俣市の市久木野ふるさとセンター「愛林館」（沢畑亨館長）は30日、福岡市の「リノベーションミュージアム冷泉荘」で地域の森づくりと棚田保全活動を紹介する催しを開いた。

都市住民に森や棚田の恵みへの理解を深めてもらう狙い。福岡市での催しは初めて。

棚田で作った「かおり米」をはじめ、そば

棚田で作った「かおり米」などの産品を品定めする来場者＝福岡市



や大豆のクッキー、かきんぎつ類の不知火のソ

ースなど約20種類の産品を販売。田植え前の棚田を2千本の竹のたいまつで照らす5月のイベント「棚田のあかり」などもパネルで紹介した。

沢畑館長（50）の講演もあり、一棚田は地下水を育み、森は土を作っている。その恵みは都市住民も受け取っている。お米を購入し食べることで地域の取り組みに加わってほしい」と述べた。

（井村知章）